



今季のエッセイ

「見ん人のためにはあらし」

平成 22 年 9 月 25 日・26 日、「2010 年第 1 回 スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック 夏季ブロック大会 in 富山」が開催されました。

この日は、スペシャルオリンピックス日本・富山の関係者にとって記念すべき日となりました。平成 15 年 3 月に大島町で細川佳代子理事長（当時）の講演会が開かれて 7 年目、近隣 7 地区を集めたブロック大会を開催するまでに成長することなど、あの講演会を聞いていた何人が想像したでしょう。

今大会終了後、運営担当者やボランティアの方々から「素晴らしかった」「感動した」という多くの感想が聞かれました。この大会が私たちに与えてくれた感動とはいったいどのようなものだったのでしょうか。

大会では鍛えられた美技だけを見たわけではありません。素晴らしい技術のアスリートもいる一方、未熟なアスリートも多くいました。しかし競技中の彼らには、いじらしいまでにひた向きに競技に集中する美

SON・富山選手団団長 戸田 一郎

しさを見ました。

人々に注目されることを期待するわけではなく、世界の檜舞台に立つことを夢見るのでもなく、ただ一心に走り、泳ぎ、ボールを追い、ラケットを振る…。

“見ん人のためにはあらし

奥山に己が誠を咲く桜かな”

(出展：新渡戸稲造全集第 8 巻、P.470

「一日一言」5 月 20 日の項より。詠み人不詳)

多くの人が観賞する桜の名所に咲くのではなく、見る人としてない山奥にあっても自分の“桜として咲く使命を力の限り全うする”、そのような美しさが大会に集うアスリートの姿に重ね合わされた それが見る人々に感動を呼び起こしたといえましょう。

SON・富山の活動を支えてくださる多くの関係者にも「己が誠」を尽くしていただいて今日に至っていることに、改めて感謝の念を深くしています。

第1回スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック 夏季大会 in 富山 2010年9月25日(土)・26日(日)

SON・富山は、2010年11月、おかげさまで設立5周年となりました
ブロック大会は、これを記念する一大イベントとして開催したものです

ブロック大会にご参加くださいました皆様へ

このたびは2010年ブロック大会・富山(BG)に参加くださいましてありがとうございました。ブロック大会は第1回ということもあり、基準書もないままでの企画・準備は、正に暗中模索でした。大会期間中は、せっかく参加いただいた皆さまにいろいろとご迷惑をおかけしたと思います。ですが、多くの皆さまが、「楽しい大会でした」と笑顔で言ってくださいました。SOに携わっている方々の温かさに助けられた大会でした。改めて感謝申し上げます。

富山ではスペシャルオリンピックスの認知度は、決して高くはありません。今回の大会で「初めて知りました」という人も多くいらっしゃいました。そういう意味でも今回のBGを開催してよかったと思っています。

アスリートの熱き「力」

「富山で挑戦！アスリートの熱き『力』」。このテーマで開催した初めての夏季ブロック大会。アスリートだけではなく、コーチ・ファミリー、ボランティア、そして私たちスタッフも挑戦した大会だったと思います。参加してくれたすべての方の「力」に支えられた大会でした。そして今回初めて「スペシャルオリンピックス」を知った方も多かったと思います。一人でも

大会を無事に終えることができました

私は、水泳とボウリングの選手団と行動を共にしました。大きな大会に参加することは初めてでしたので、実際にアスリートに会うまでは少し不安もありました。しかし、プレーを終えたアスリートがハイタッチを求めてくることに素直に応えてやることができ、彼らと喜びと感動を共有できたことと実感した

ヘルシー・アスリート・プログラムを開催して

今大会のヘルシー・アスリート・プログラム(HAP)は、OE(オープニングアイズ)、HH(ヘルシーヒアリング)、SS(スペシャルスマイルズ)の3部門で開催



実行委員長 山本 肇

SON・富山では今後もスペシャルオリンピックスを少しでも多くの人に知ってもらい、併せて知的発達障害のある人たちへの理解に繋げていければと思っています。



副実行委員長 齋藤 行男

多くの方に知っていただき、一人でも多くの人に参加していただき、スペシャルオリンピックスの輪を大きくしていくことができた大会だったと思います。SON・富山という木が今後ますます「力」強く太く大きくなることを願っています。そして、今大会でお会いした全ての方に感謝しています。ありがとうございました。

SON 富山選手団副団長 大井 庸右

とき、不安は吹っ飛びました。

今回、スペシャルオリンピックスの活動が、結果よりも過程を重視し、精一杯に頑張ったアスリートをそれぞれに讃えることが趣旨であるということを改めて理解することができて、大会に関係された皆様に感謝の気持ちで一杯です。

HAP 担当者 牧野 禎美

しました。タイムスケジュールの都合で、水泳、ボウリング、陸上のアスリートには開会式前の1時間しか受診時間が取れなかったことが反省点ですが、総勢300人のアスリートに対して、それでも160人以上が受診できました。

会場がアスリートの笑顔で埋め尽くされたときは、私もつい目頭が熱くなってしまいました。一人一人の目が輝き、「ありがとう！」とお礼の言葉を耳にするたびに「開催して良かったなぁ」と実感されました。富山ではSOの認知も低い中、この機会を通じて今後ますますSOが、そしてHAPが根付くことを期待して止みません。HAPの運営に関わってくださった全ての医療関係の皆様にご心よりお礼申し上げます。

B G 各競技

水泳

水泳競技は、高岡市の長慶寺プールで開催され、富山から25人、他5地区から33人、合計58人のアスリートが参加しました。

多くの人の温かい応援を受け、決勝では約7割強のアスリートが前日の予選記録を更新したり、表彰式では力が入ったガッツポーズを披露するなど彼らにとってはチャレンジする勇気を持ちつつ和気あい



笹井 隆康

あいと臨んだ2日間だったと思います。

大きなトラブルもなく競技会を終えることができ、支えていただいたNPO法人高岡市水泳協会、高岡支援学校の校長先生はじめ各先生方、ボランティア、ファミリーの皆さまに深く感謝いたします。そしてアスリートの皆さんの更なるご活躍を願っています。



ボウリング

ボウリング競技は、9/25・26の2日間にわたり、クアトロブーム小杉で開催され、ボランティアはとびっきりの笑顔とハイタッチで、各地区からのアスリートを迎えました。

初日の富山ボウラーズはやや緊張気味で、それがスコアにも現れたようでした。

しかし翌日の決勝では朝からとても元気で、ポー



水井 しのぶ

ルを投げる彼らからは、並々ならぬ闘志を感じ、真剣勝負を繰り広げていました。

表彰式の後、みんなで誰もが立ち上がった台に上がり、記念撮影をし、とても嬉しそうに笑っていたのが印象的でした。閉会式では、チアリーダーとバンドの演奏でアスリート全員がダンサーになって、会場が一つになり、大変な盛り上がりでした。



陸上競技

夏季は雨と猛暑に祟られながらも、休まず参加してくれるアスリートのやる気に支えられ、終了しました。雨を心配したBGもこれ以上ない快晴の中、6地区47人の参加で始まりました。上には上がいると発奮したり、緊張しながら出した記録に一喜一憂したり、他地区の素敵なユニフォームに憧れたり、それぞれ良い刺激となりました。そして何より印象的



辻 啓子

だったのは表彰式でした。アスリート一人一人の何ともいえない晴れがましい表情を見た途端、それまでの大変さが全て吹き飛ぶ思いでした。この顔を見るために皆頑張っているのだと実感しました。関わられた皆さん本当にお疲れ様でした、そしてありがとうございました。



B G 各競技

サッカー

芝生会場のサッカー競技では、前日まで不安があった天候にも恵まれ最高のコンディションで、芝生からの照り返しで日焼けをするほどでした。そんな中、旅客機の離着陸の騒音にも負けない活気あるゲームとなり最高の2日間でした。

アスリートには、個人のレベル差がありましたが一つのボールを追いかける喜びはみんな同じであっ



末村 寿治

たと思います。競技に勝負はつきものです、それを感じさせないほど素敵な笑顔を見せてくれたアスリートにはもう一度拍手を送りたいと思います。

役員、ボランティア、ファミリーの皆様、この笑顔のために力を尽くしていただき本当にありがとうございました。



卓球

『よーい、スタート』の合図で個人競技が開始され、我々競技役員も緊張で気が引き締まる瞬間。アスリートもいつもと違う雰囲気の中、除々に熱き闘志を燃やし始めたようです。「ポンポン、ポン」と館内に音が鳴り響く中、カウントを先取するごとに威勢よく声をあげるアスリート。周囲の声援が飛び交

旅家 久美子

う中、普段以上の力を発揮できた素敵な表情が見受けられる一方、思うような成績を残せず悔しい表情のアスリート。しかしながら、これこそがバネになり今後の励みや成長につながるのですね。今大会を機に新たなスタート台からの更なる活躍を祈るばかりです。



バスケットボール

アスリートの大きな声、必死な顔、パワープレー、白熱した試合が繰り広げられました。中には微笑ましいプレーも。各チーム、ディフェンスもオフェンスも真剣そのもので、シュートを決めた時のガッツポーズが自信に満ち溢れていました。決勝は、富山のクリスタルレモンが金メダル、イエローファイタ

前川 馨

ーズが銅メダルを獲得しました。アスリート、コーチ、ファミリー、ボランティア全員の心が一つになった瞬間です。個人競技の3人も、練習の成果が発揮できて満足そうでした。アスリートの満面の笑顔が私たちへの最高の贈り物でした。



参加者の声

アスリート交流会に参加 ファミリー 田村 進



1日目の予選競技が終わり、宿泊施設である国立立山青少年自然の家で行われたアスリート交流会は大変楽しいものとなりました。一組目は10人超のチンドンで大人数での演奏はにぎやかで楽しいものでした。チンドンの音とパフォーマンスは県外の方には珍しかったのではないのでしょうか。楽器を触らせてもらったり、太鼓や鉦をたたいたりする姿は微笑ましく印象的でした。2組目のロックコンサートはアスリートがステージの前に集まりみんな総立ちでノリノリで踊りました。アーティストが叫んだ『音楽は世界共通だあ』の一言と、アスリートが純粋に音楽を楽しむ姿に感動し大いに勇気づけられました。アスリートは多くの方々に支えられてさまざまな経験をし、自分の可能性を見つけることができました。大会を支えていただいた全ての皆さまに深く感謝いたします。



みんなの素敵を発見 ボランティア 山本 紗也佳

「みんなと仲良くできるかな」という心配をしなくてもよかったな、と思えるくらい、アスリートから積極的に話し掛けてくださり、また名前や顔も覚えてもらって、とても仲良くなることができました。この2日間で、生き生きとしたプレーや、皆の素敵なところをたくさん発見しました！そして改めて人と人との出会いの大切さも学びました。この大会にボランティアとして参加できて本当によかったです。最後に、私が担当させていただいた新潟地区バスケットボール競技の皆様、ありがとうございました。



ボランティアを有効に ボランティア 山田 善之



アスリートのスポーツにかける情熱、それを支えるファミリーの温かさ、また閉会式での皆さまの生き生きとした表情に触れることができ、参加してよかったと思います。

ただ、集合時のミーティング等がきちんとされず、どこで何をすればいいのかわからない状態もありました。もっとボランティアを有効に使えばいいとも思いました。

他地区の方との交流 ファミリー 本田 薫子



今年の記録的な猛暑の中、アスリートはバスケットの練習を熱心に頑張っていましたので無事、大会を終えることができ、大変よかったです。私は、ファミリー委員として参加しましたが、活動を通じて多くの方々、特に他地区の方とお話する機会があり、楽しい時間を過ごすことができました。親子ともども初めての大きな大会参加でしたが、大変、貴重な体験をすることができました。



家族で参加したBG ファミリー 林 紀子

このBGは我が家にとってとても思い出に残る大会でした。主人は何ヶ月も前から「主人」ではなく「SOの人」に。彼はよく、「細かいねえ～」と言われますが、今回はその細かさが役に立ったのではないかと思います。大会と卓球の責任者で每晚遅くまで大変でした。息子もコーチとして参加してくれました。



アスリートは、最初はラケットの握り方もままならなかったのに、試合までのその成長は素晴らしく、びっくりでした。ファミリーは言わなくても必要なことを何でも用意してくれる、魔法使いのようでした。大会に関わって下さったボランティアの方々をはじめ皆さまに感謝です。楽しかったです、ありがとうございました。

勇気と優しさ

ボランティア 柴田 恵子



1泊2日のボランティアに申し込み、事前説明ではチョット不安な気持ちで参加しましたが、全く恐れることなく宿泊ボランティアもアスリートの試合もとても楽しかったです。2日目は急遽バスケットのモップ係をしました。競技会場に入ることができたことも感動しました。勇気と優しさが私の心に湧いてくるように思えました。ボランティアをさせてもらってありがとうございました。

アスリート委員会より

BGグッズを手作り・販売しました！

ファミリー有志は、アスリートに競技以外の形でもBGに関わってもらいたいと思い、グッズ作りを企画して、競技会場で販売することになりました。作成したのは、「エコバッグ」と「プラ板ストラップ」です。

エコバッグは、アスリートがチューリップのステンシル型を使って布地に絵の具と筆で着色し、それをファミリーがミシンでバッグに仕立てました。はじめは、絵の具が多かったり、かすれてしまったりしましたが、回を重ねるごとにみんな上手になりました。



かわいいなあ。
みんな頑張ったネ！



プラ板ストラップは、プラスチックシートの下にチューリップの絵を置いて油性マジックで写し書きし、オーブントースターで加熱して作ります。これは細かい作業が得意なアスリートが頑張ってくれました。

皆に呼びかけて作り始めたのは8月から。頑張っていて何とか大会に間に合わせることができました。アスリートも根気よく、楽しく取り組んでくれたので、とてもよかったです。エコバック 100個とストラップ 130個が完成し、嬉しいことに、9割以上が売れました。アスリート自らが販売できなかったことが少し残念でしたが、スポーツプログラム以外のこのような活動を今後にもつなげていけたらいいと思っています。



イベント

東海・北信越ブロック認定コーチ研修会開催

2010年7月19日 富山県総合体育センターで、「東海・北信越ブロック認定コーチ研修会」を開催しました。

認定コーチ研修会とは、各地区で認定コーチとしての資格を有し、すでに日常プログラムで活躍しておられる方たちを対象に、コーチとしてレベルアップしていただくことを目的とした研修会で、ブロックごとに開催するものです。



2ヵ月後のブロック大会に向けてコーチとして知っておくべき「危機管理」、「競技会運営」、「ディビジョニング」について学習できるとあって、東海・北信越ブロックのコーチが大勢参加し、講義や演習に熱心に取り組みました。



SP委員会より

ブロック大会の興奮がまだ冷めていませんが、11月5日(金)～7(日)、2010年第5回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・大阪が開催されます。この大会には、SON・富山から17人のアスリートとコーチとスタッフ13人の計30人が5の競技に参加します。

また、来年の1月29日(土)～30日(日)、SON・長野が主管となり長野県菅平にて、2011年 第1回スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック 冬季ブロック大会が開催されます。富山からは、アルペンスキーとスノーシューイングにエントリーする予定ですので、みなさん奮って参加しましょう。

イベント

夏季競技会

9月4日(土)陸上プログラム最後の競技会が藤井会長、山本副会長に出席いただき行われました。



9月12日、水泳競技会を行いました。ブロック大会(BG)のリハーサルをかね、ボランティアの人たちも一緒に当日の動きを考えて、練習や打ち合わせをしました。

BG茶会

8月29日(日)高岡市福岡町西部コミュニティーセンター「木楽館」で、BG 富山を支援くださるために古儀茶道藪内流竹風会小矢部支部が企画・主催(富山新聞社後援)のお茶会が開催され、各地から約300人の方々に参加されました。アスリートも受付やお茶席での挨拶などで参加させていただき、竹のモニュメントやもてなしの作法を実際に見ることで、お茶の世界を感じることができたと思います。



また、9月5日(日)に富山県総合福祉会館「サンシップとやま」でも、武者小路千家 富山官休会が企画・主催で開催してくださいました。(北日本新聞後援)このお茶会には各地から約250人の方々に参加されました。アスリートは副席の立礼席(席主・邊井徹伸家元教授)でのお運びのお手伝いをさせていただき、お茶会の席で、お客様に直接お茶を運ぶという貴重な経験をすることができました。

ファボーレ1ヶ月前イベント

ブロック大会(BG 富山)まで残すところ一ヶ月になった8月28日、スペシャルオリンピックスのこと、そしてBG 富山の開催を皆さんに知っていただくためのプレイベントとして「あと30日 頑張ろうイベント」がショッピングモールファボーレの太陽の広場で開催されました。出演者は、友井賢太郎バンド、bjリーグ富山グラウジーズ黒田社長、ブロックゲームに出場するSON・富山のアスリートたちで、司会は鍋田恭子さんでした。



事務局から

アドテッドスポーツ学会に参加しよう

富山大学人間発達科学部の水内先生が世話役となつて、日本アドテッドスポーツ学会の全国大会が12月4日(土)、5日(日)と富山大学で開催されます。参加費は千円。澤田さんやアスリートもシンポジウムで発表します。会員はふるって参加しましょう。

クリスマス会、今年は富山

今年のクリスマス会は西地区の予定を変更して、富山市の電気ビルディングで開催されます。夏だけしか参加していない人も、冬だけしか参加していない人も、みんなで盛り上がりましょう。12月23日(祝)の夜です。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2010年4月10日～2010年8月30日)>

敬称略

青木 隆済	大津 賀玉紀	下条 由季子	田口 昌宏	長谷部 裕子	前田 友幸	森田 英男
浅野 達哉	大坪 恭子	下条 竜一	田口 靖子	馬場 紀子	前田 万里子	森永 文夫
油本 光正	大坪 敏彦	河内 雅人	田中 ひさ子	早崎 安雄	巻端 凌生	八木 信成
新井 まち子	岡田 一雄	河内 久美子	竹田 慶正	林 繁信	増岡 良彦	山口 修
荒見 真央	岡部 敬	石仙 美幸	田村 進	春山 美津子	松田 智至	山岸 明子
五十嵐 務	小川 隆	佐伯 秀彦	塚本 裕香子	日出島 俊枝	三上 裕之	山崎 政行
石井 郁子	小川 清美	笹井 隆康	辻 圭介	開 裕貴	水口 徹	山田 孝哉
石橋 園美	荻生 明美	笹井 美保	常木 育美	福島 朝子	道下 和美	山本 憲文
伊勢 洋	尾崎 詩子	佐々木 一成	寺島 知駿	福島 亘	三津島 渉	山本 松昭
市田 露子	小野寺久美子	佐々木 啓三	當波 秋子	福島 茂次	三松 隆之	山本 幸子
今木 愛子	海内 孝明	柴田 和彦	當波 豊司	福島 志美子	宮崎 和子	山本 松昭
今木 静香	笠間 晃一	姿 哲也	長江 理一	福田 孜	宮下 敬	横井 一成
岩白 翔太	金山 彰	杉田 康子	長江 幸代	藤井 裕久	宮田 タツ子	吉岡 俊博
岩白 誠	上 隆義	杉森 真一	長久 満	二口 逸郎	宮野 誠二	吉藤 国之
岩白 真美子	上井 二郎	杉森 喜三郎	中山 真美	方堂 千恵子	村上 朝子	若松 文枝
岩白 真衣	神島 健二	素谷 孝子	中山 育子	堀 昭夫	村上 和久	和田 透
岩瀬 妙子	川瀬 文夫	素谷 宏	長森 幹二	堀田 良一	村下 陽一郎	渡辺 康広
岩瀬 武	神田 文治	杉山 正史	奈辺 晴美	本田 繁	村下 勇	
魚津 亘紀	北川 英一	高瀬 祐子	西野 彰	前川 馨	村下 昭一郎	
内山 隆一	木津 一水	高田 隆二	西野 淳子	前田 恵佑	毛利 信幸	
円仏 和司	久保 裕	高畑 武志	野手 光子	前田 拓海	森 眞澄	
愛和報恩会	あかりハウス	小栗小児科医院	高岡支援学校			
ミカド工業株式会社	懐石万惣(中尾英力)	株式会社藤井産業				
日東メディック株式会社	山口郵便通送株式会社	社団法人富山県手をつなぐ育成会				
新潟北酸株式会社	大谷製鉄株式会社	富山市家庭婦人バレーボール連盟「いそじの部」				
山田祐司眼科医院	富山大手町ロータリークラブ	富山南ロータリークラブ				
武者小路千家(邊井徹伸)	北酸株式会社	北酸物流株式会社				
北酸テクノサービス株式会社	北酸高圧瓦斯株式会社	JBC富山県連盟				
藪内流小矢部支部(川島恵子)	有限会社ラド	リードケミカル株式会社				

<物品提供協力企業>

J A ライフ富山	青山総本舗	株式会社ボン・リブラン	有限会社高芳
株式会社河内屋	株式会社姥米水産加工	かね七株式会社	株式会社千歳
日本コカ・コーラ株式会社	富士ゼロックス北陸株式会社	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	映音堂

ありがとうございました。

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山
(日本は、「ニッポン」としてください。)
北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5308370

賛助金

<個人> 一口 3,000円
<企業・団体> 一口 10,000円

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。